

感染症対策の専門家による学校訪問 ～部活動時における感染防止対策に着目して～

【第1弾：県立大宮東高等学校】

令和3年6月11日(金)

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

本報告書は、学校における感染防止対策の充実のために作成しました。
写真の複写・転用及び目的外の使用、SNS等での拡散は、御遠慮ください。

■ 目的

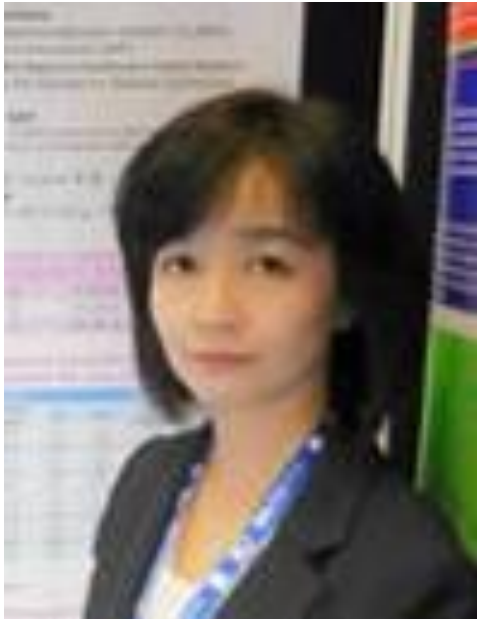
感染症対策の専門家に、部活動を中心とした学校生活の感染防止対策の観察を通して、

- ①工夫された取組を他校に紹介
- ②より良い対策のための助言・支援

をいただくことを目的として実施する。

感染症対策の専門家 坂木 晴世(さかきはるよ)氏

- ・ 国際医療福祉大学大学院
保健医療学専攻 看護学分野 准教授
- ・ 埼玉県新型感染症専門家会議委員



坂木先生からいただいたコメントを、お示しします。

【学歴】

国立看護大学校 研究課程部 看護学研究科
政策医療看護学専攻(修士)修了
東京大学大学院 医学系研究科
健康科学看護学専攻(博士)修了

【職歴】

国立西埼玉中央病院病棟 看護師
独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院
感染管理担当専従看護師
国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科
保健医療学専攻 看護学分野 准教授

【資格】

看護師・感染症看護専門看護師・
感染管理認定看護師

基本的な感染対策

① 掲示物を活用した注意喚起、換気、ビニールシート等

職員玄関の掲示

(AED設置場所 & 感染対策)



廊下の掲示

(交通安全 & 感染対策)



- ・ 広く窓を開けた換気
- ・ サーキュレーターによる換気の効率化
- ・ ビニールシート
- ・ 手指消毒用のアルコール、体温計の設置



基本的な感染対策

②健康観察、消毒の設置、左側通行

- 朝の登校前に検温し、体調不良の生徒は登校しないよう指導
- 朝のSHR及び部活動前に健康観察
- 体調が悪い者は活動に参加しない
- 家族が体調不良等の際にも登校を控えるよう指導



基本的な感染対策

③手洗い場の石けん、手指の消毒

手洗い場には、
石けんを設置



体育館や教室の
出入り口には、
消毒薬を設置



基本的な感染対策

④部室(更衣室)

- ・決して密にならないよう指導
- ・男子はグラウンドや体育館わきで着替え
(雨天時は教室で着替え)
- ・更衣中もマスク等の着用を指導
- ・マスクをしていない時は会話をしない



活動中よりその合間の着替えや休憩時間に、マスクを外して会話をすることが、感染リスクを高めるといわれています。

●更衣中もマスクを着用。

●マスクをしていない時は会話をしない。

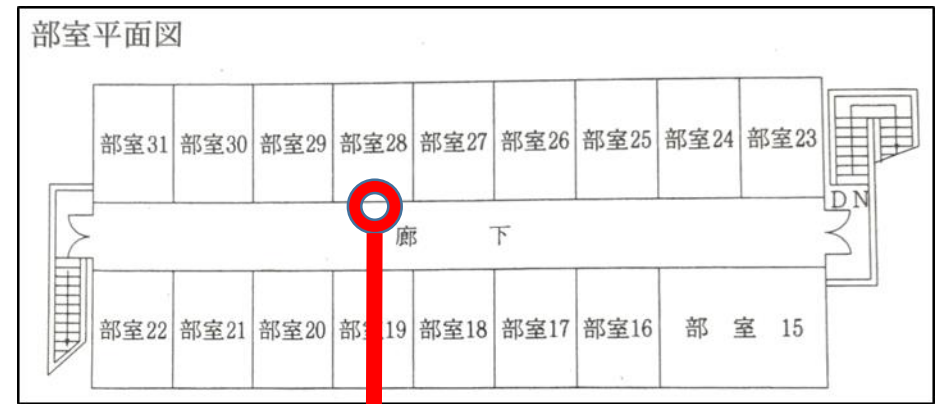


これは大切なポイントです。

基本的な感染対策

⑤部室棟～換気

- ・ 2階建ての部室棟（現在は女子のみ使用）
- ・ 各部屋は外に面して窓があり、建物の構造は換気しやすい構造となっている



部室の廊下側と外側の窓をほんの少し開けているだけですが、空気が流れていることが分かりました

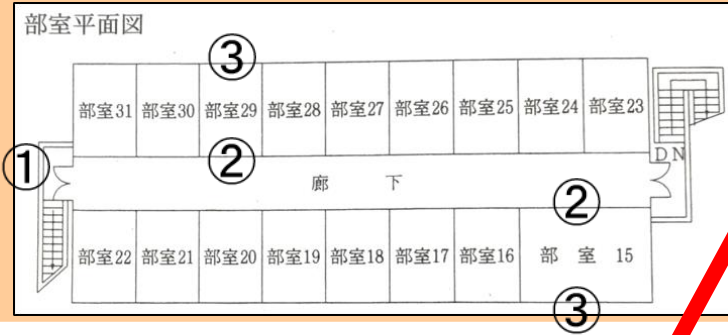


あえて言うならば...

日当たりが良い分、部室棟に入った瞬間、「もあ～」とした空気を感じました。



部室棟～換気



部室棟の換気を効率よく行うため

- ①部室棟を使用するときは、部室棟の入り口を全開にします。
- ②廊下側に面した天窗は、常時開けておきます。
- ③部室棟を使用する際は、外側の窓を広く開けるようにすると、効率よく換気ができます。



換気 ～対角線上に2カ所空けることの意味



- 片方の窓しか開いていなかった視聴覚室。対面の窓を開けることで、空気の通り道ができました。
- エアコン利用時にも換気が必要ですが、ほんの少し(5～10cm)開ければOKです。



基本的な感染対策

⑥換気 ～サーキュレーター～の活用

- ・体育館や柔道場には、大きなサーキュレーターを整備
- ・文化部の活動場所も、窓の近くに扇風機を配置

体育館内側にあるサーキュレーターは、扉付近に移動させた方が効率よく換気ができます。

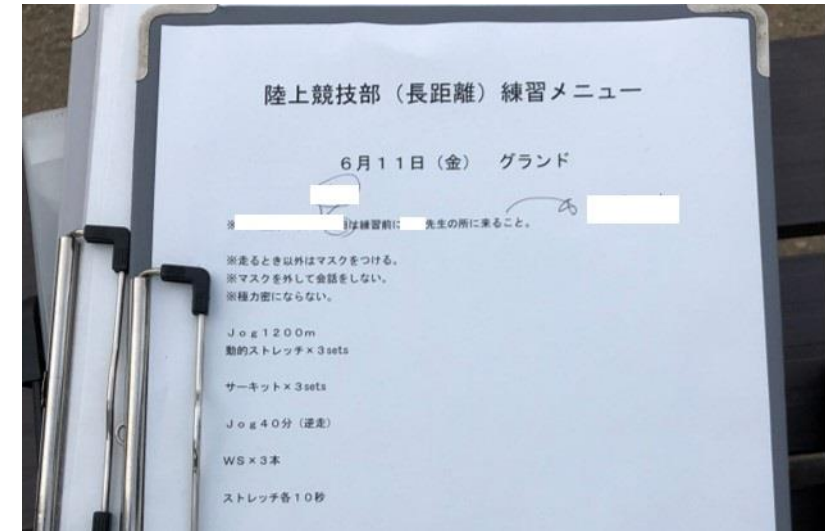
風が入ってくる入り口付近にサーキュレーターを配置すると、室内に空気の通り道ができ、効率よく換気ができます。



基本的な感染対策

⑦活動準備 1

- 体調の悪い生徒は参加しない
- 部員の多い部活動はカテゴリーに分け、活動時間や場所を分けて行う
- 出席を必ず取り、記録する
- どのような活動を実施するか、**メニュー表を作成する**



誰が、いつ、どの活動に出ていたか...

これを把握することは、万が一感染者が発生した時の行動履歴の確認、濃厚接触者の特定をする際に必要な情報の集約が迅速に行えるのでとても大切です。

基本的な感染対策

⑦活動準備 2

- ・グラウンド整備や用具のセッティングはマスクを着用
- ・ミーティング時もマスクを着用
- ・顧問もマスクをして指示を出している



基本的な感染対策

⑧水分補給

- ・ 回し飲み禁止
- ・ 各自で水筒を用意して水分補給を行う
- ・ 飲むときは、**時間差を設けたり、距離を取って飲むようにしている**



・ 飲み口を触らずに飲める水筒は、手を洗わずに水分補給ができるので良いですね。ただし、こまめに手を洗う習慣も大切です。

・ できれば、水筒は距離を取って置いておくほうが良いですが、スペースの無い体育館等では、飲む時間に差を設けたり、飲むときには人と距離を取って飲むようにしていると伺い、これは良い取り組みだと思えます。



部活動ごとの取組～野球部

↓見学者に対する健康観察

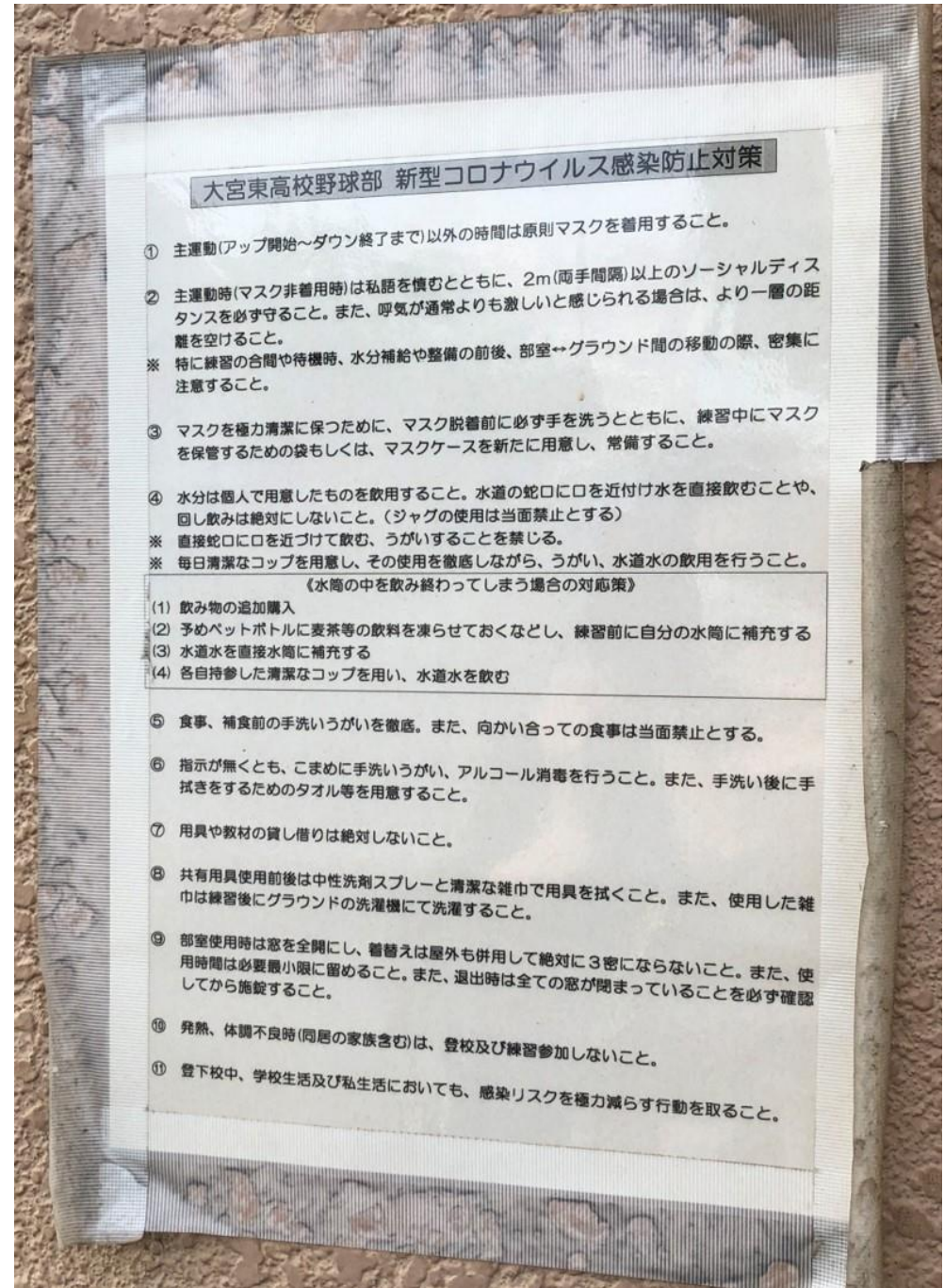


野球部

新型コロナウイルス 感染防止対策 →

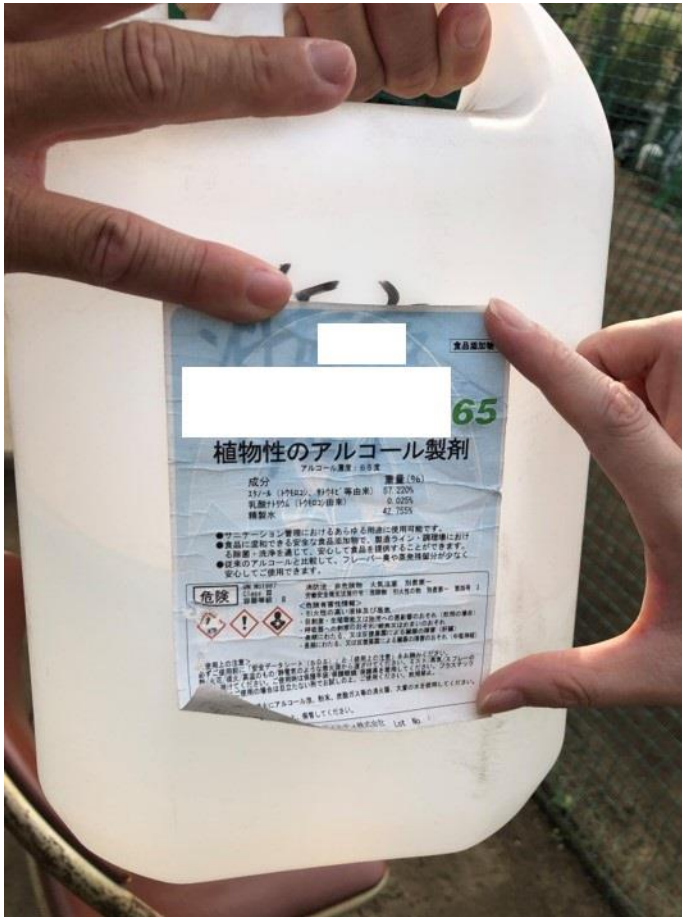
登下校中や私生活においても、感染リスクを極力減らす行動をとること、と記載されています。

部活動への意気込みを感じるとともに、高校生でも家庭内感染や経路不明な感染も多いことから、日々の生活における取組が大切なことがしっかりと押さえられていました。



用具の消毒 ～共有するバット等の消毒

【課題】道具の劣化が心配、消毒に手間がかかる...



- 一般的に消毒に推奨されるアルコール(エタノール)は、濃度70%以上95%以下の製剤です。
- 左の製品は、アルコール濃度65%と書いてありますが、60%台のエタノールによる消毒でも一定の有効性があると考えられる報告があり、厚生労働省は新型コロナウイルス感染対策において、70%以上のエタノールが入手困難な場合には、60%台のエタノールを使用した消毒も使用可能としています。
- アルコールは、タンパク質などの汚れがついていると、効果が落ちてしまいます。手で握るバットの消毒をするためには、一度手垢などの汚れを落としてから消毒することが必要で、これは手間がかかりますし、アルコールによってバットが劣化する可能性があります。
- バットの清浄化には、界面活性剤の入った住居用洗剤を浸した布(クロスなど)を固く絞って、清拭することをお勧めします。界面活性剤は、新型コロナウイルスにも有効です。
- メーカーによっては2度拭きが不要な製品もあるので、メーカーの指示に従ってもらうのが良いと思います。

マイクの活用 ～体育の授業や部活動時に大活躍



- ・部活動中の体育館でも、先生の声が生徒にしっかり届いていました。
- ・両手が空くハンドフリータイプは、使い勝手もよさそうです。

トレーニングルーム

- ・部活動ごとに時間を分けて使用する
- ・使用時間や利用者の氏名を記録する
- ・使用前には手洗い・手指消毒
- ・マスクの着用
- ・窓を広く開けて換気
- ・使用後は、マシンを消毒

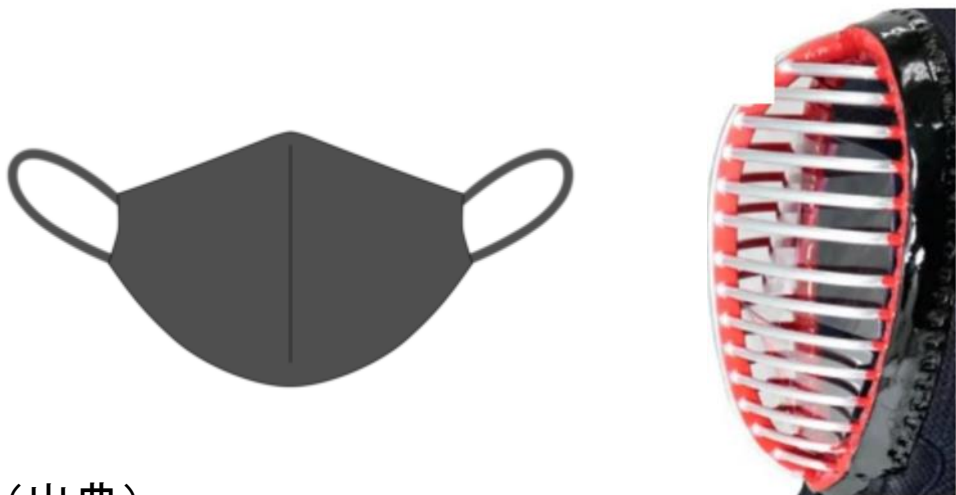


●共有器具が多く、人が近い距離にいることから、感染リスクが高い場所と言えるでしょう。

●使用時のルールがしっかりと定められているので、これを遵守するようにします。

競技ごとのガイドラインに沿った対応

(例) 剣道は、声を発する競技なので、面マスク、シールドの着用が強く推奨されている。



(出典)

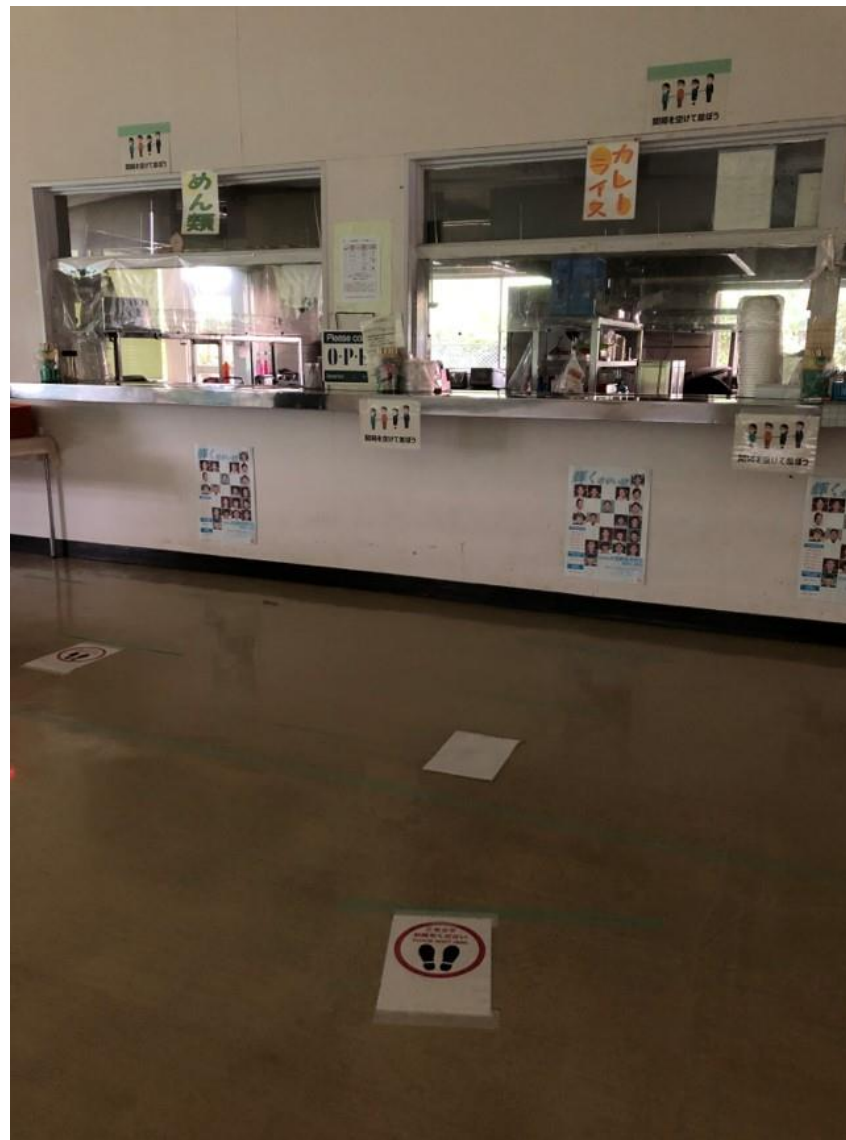
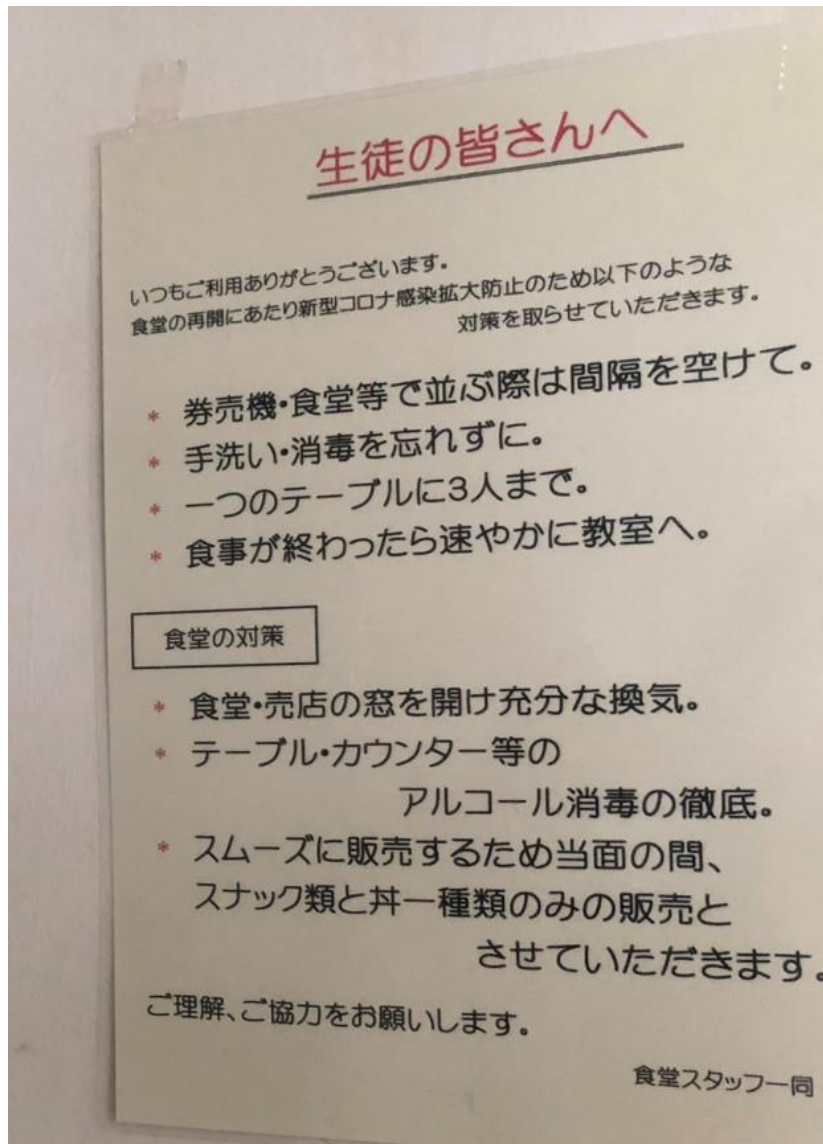
対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン：
一般財団法人全日本剣道連盟、令和2年6月4日)

剣道用インナーマスクと面マスクを着けて稽古している様子



- ・競技の特性に合わせてガイドラインが作成されているので大いに参考にしましょう。
- ・熱中症には嚴重注意！！
(時間を決めて休憩、水分補給、「おかしいな？」と思ったらすぐに活動中止し顧問に申し出る等)

表示だけでなく、先生方も食堂や教室を見て回り、生徒に声掛けを行う



校内放送を活用した呼びかけ

～マンネリ化しないように、毎日少しずつ内容を変える

座席の向きは、一方向



テーブルにも表示



・場所や場面に合わせた内容の掲示物となっているので、なぜこうしなければならないのか？が理解しやすいですね。

総括



(保健体育課)

- 教職員、生徒、保護者が一丸となって感染防止に取り組んでいる。
- 校内放送や掲示物等も少しずつ内容を変えるなど、形骸化しないように工夫されていた。
- 熱中症には注意していただきたい。

(感染管理専門家 坂木先生)



- 部室棟の換気について、外側は防犯の関係で困難だと思うが、内側の天窓は常時開けておくの良い。使用時には部室棟の入り口を全開にしておくのと風の通り道ができる。
- 二酸化炭素濃度測定器を1台用意し、計測用にとすると良い。
- サーキュレーターを活用(入口付近に置くと効果的)
- トレーニングルームは感染リスクが高い場所なので、要注意。
 - 部活動ごとに時間を分けて使用
 - 利用者の氏名を記録
 - マシン使用前の手洗い、手指消毒
 - 窓を広く開けて換気
 - 使用後のマシン消毒 等

【坂木先生の講評】生徒が感染防止対策の意図をきちんと捉え、主体的に取り組みがなされている。